

経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

(4) みやざき農商工連携応援ファンド

宮崎県信連（宮崎県）

新規	継続
	○
	(平成 21 年 3 月)

1 動機 (経緯)	<p>本県の中小企業者と農林漁業者が連携し、商品開発・販路開拓・技術開発・人材育成等の農商工連携の取り組みを支援する目的で創設する基金（債券運用する資金（原資））の借入申し込みがありました。</p> <p>本件は、宮崎県県経済の活性化及び農林漁業者の支援となること、また、県内の系統金融機関として地域活性化に貢献できると判断し応需しました。</p>
2 概要	<p>基金の管理運営法人である宮崎県産業振興機構は、独立行政法人中小企業基盤整備機構・宮崎県・宮崎銀行・宮崎太陽銀行・本会から調達した資金により地方債で運用を行い、運用益により助成事業等へ充てています。</p> <p>当機構の基本的な運営方針は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本県の基幹産業である農林水産業と中小企業との連携による研究開発・商品開発・販路開拓等の取り組みを支援することにより、地域経済の活性化を図ります。 2. 農林漁業者と中小企業の連携がなされることにより本県の農林水産業の生産拡大や高付加価値化・ブランド化の推進に寄与・注力します。 3. 燃料価格高騰などにより、農林漁業だけではなく産業全般にわたり、先行きに不透明感・不安感が広がっている中で、本県の農林漁業や中小企業の支援にも積極的に取り組みます。
3 成果 (効果)	<p>平成 21 年度より助成事業の公募が開始され、平成 28 年度末時点で第 16 回までの公募が終了し、計 112 件の事業が助成事業として採択されています。</p>
4 今後の予定 (課題)	<p>地域活性化に貢献する取り組みとして非常に有意義であり、今後も継続して官民連携した取り組みを行っていきたいと考えています。</p>